

講義名	対)福祉サービスの組織と経営			
担当教員	渡邊 健			
開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限	授業形態	講義	
履修開始年次	3年生	単位数	2	備考

**主題と概要**

福祉サービスの多くは、自治体・社会福祉法人等が中心となって実施されている。なかでも、対人サービスをともなう直接事業の多くは社会福祉法人が歴史的にも今日的にもその役割を担っている。こうした事業は、法律・制度に則って運営、実施するものが多く、実施組織の多くは「運営」という考えはあるものの「経営」という意識は希薄な場合が多い。しかしながら、2000年の介護保険制度の導入以後は独立採算・自律契約等の導入や民間企業等の事業参入競争を招いて、事業経営という考え方が重要性を増している。そこで、社会福祉法人の組織と事業を中心に社会（公共）サービスを担う組織の経営の現状と課題について学習を進める。

**到達目標**

非営利組織経営やマネジメントについて基礎知識を習得する。

**提出課題**

適宜授業のなかで提示する。

**課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック**

授業で提示したテーマに対する小レポートについてコメントを行う。

**評価の基準**

中間および期末に課すレポート、対面でない授業期間中のレポート、授業で適宜提示する課題に対する小レポート、および授業への参加姿勢により評価する。

**履修にあたっての注意・助言他**

配布するレジュメは、学習目標到達のために重要なキーワードを提示するものなので、大切に保管すること。「評価の基準」の総論態度は採点法であり、私語・携帯電話の着信音、メール等の操作等が含まれる。

教科書				
・教科書の指定なし。				

**プリント資料及び参考文献**

【プリント】…随時、授業で配布・紹介。

【参考文献】…最新・社会福祉士養成講座1  
福祉サービスの組織と経営」中央法規 2021年

**授業計画**

オリエンテーション  
福祉サービスとは  
福祉サービスの事業主体とサービス提供組織  
福祉サービスの経営管理  
福祉サービスと非営利  
福祉サービスにかかわる組織や団体  
社会福祉法人  
特定非営利活動法人  
医療法人、愛護法人、協同組合・市民団体  
福祉サービスの組織と経営の基礎理論  
組織と集団  
サービスマネジメント  
リスクマネジメント  
人材育成と人材確保  
福祉サービスの財源

**授業形態（アクティブ・ラーニング）**

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

**準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間**

予習は授業終了後に次回テーマを提示するので、各自が書籍・インターネット等で関連する事柄を調べて読むこと。復習は自らの授業内容について、要点や考察を整理して書き出しておくこと。それが小レポートやレポートにつながる。予習・復習学習時間：計60時間

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

複雑、多様化が加速する社会のなかで生じる福祉課題、それに対応する制度・政策、サービスを理解して、良質なサービスのあり方、サービスを支える組織の醸成、サービスを継続・発展する運営・経営マネジメントについて主体的に思考し、サービスマネジメントの実践力や課題解決する力を養う。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

**実務経験の有無及び活用**

高齢者福祉分野において、サービス従事、運営管理、経営管理の実績あり。授業では適宜、実践例の紹介を行う。

**備考**

新型コロナウイルスの感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される学生については、通学困難となった期間に実施される対面授業について「やむを得ない欠席」として、自宅待機など解除後に代替措置を講じる。